

a を正の実数とする. xy 平面の放物線 $C: y = x^2$ 上に点 $A(-a, a^2)$ をとる. $s > 0$ のとき, x 軸上から点 $P(s, 0)$ に対して, 直線 AP と C の2つの交点のうち, A とは異なる交点を $Q(t, t^2)$ とする. Q から x 軸に下ろした垂線と x 軸の交点を $P'(t, 0)$ とする. いま, x 軸上の点 $P_1(c, 0)$ ($c > 0$) から出発して, 点 P に対して点 Q, P' を定めたのと同じ方法で P_1 から点 Q_1, P_2 を定め, 同様に P_2 から Q_2, P_3 を定め, この方法を繰り返して, P_1, P_2, P_3, \dots と Q_1, Q_2, Q_3, \dots を定める. 次の問に答えよ.

(1) t を a と s を用いて表せ.

(2) 点 P_n ($n = 1, 2, 3, \dots$) の x 座標を x_n とする. 数列 $\{u_n\}$ を $u_n = \frac{1}{x_n}$ で定める. $\{u_n\}$

の一般項を求めよ.

(3) 直角三角形 $P_n Q_n P_{n+1}$ の面積を S_n で表す. 自然数 r を選んで, 極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} n^r S_n$ が正の実数値に収束するようにできる. このような r の値とそのときの極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} n^r S_n$ を求めよ.

[2005 神大 理系 前期]